eLAつうしん
eライブラリアドバンス
2021年 6月号 Vol.195

# 東京都葛飾区立 東金町小学校（ひがしかなまち）

# eライブラリでＩＣＴ教育の日常化へ

## ～学校でも家庭でもふりかえりの習慣で基礎学力アップ～

東金町小学校では、ＩＣＴ教育の日常的な活用が目標になっています。全校で「毎週３回はｅライブラリで宿題を出す」と定め、学校でも家庭でも積極的にｅライブラリを活用しています。

## ｅライブラリで３ステップのふりかえり

▲復習ではリトライ機能も使い、着実に１００点をとるように声をかけます

**理科** **３年** **太陽の光**

普段から授業でｅライブラリを使っている児童は、慣れた様子で、基本・標準・挑戦のレベルから、自分に合うドリルを学習します。その後、確認問題をクラス全員で見ながら、一問一答が始まります。最後に、確認テストに取り組み、ヒントを見ずに１００点をとった児童は「もっと理科がわかるようになった」と大満足でした。

個別で【ドリル】 ⇨ 全体で【確認問題】 ⇨ 個別で【確認テスト】 ⇨ ドリル定着

## 個別のドリルと全体の確認問題

クリックして黄色いふせんをめくりながら理解度をチェック▶

確認問題は、単元の要点が一問一答でまとめられています。電子黒板に映して、先生が問題を読み上げると、ドリルで見直しをしたばかりの児童はいち早く答えようと前のめりになって参加します。

それぞれが黙々とドリルに励む姿とは一転、先生と児童のやり取りで教室には一体感が生まれていました。

**ポイント** 授業に緩急をつけて、児童のやる気と集中力アップ

## インタビュー ケアレスミスによる苦手意識を自信に変える

ｅライブラリは、ドリル・確認問題・確認テストの３ステップで着実に単元を習得できます。校内テストでケアレスミスが目立った単元を、ｅライブラリで復習し、リトライで１００点をとることで、児童は達成感と自信を持つことができました。

また、**ドリルに集中して向き合う時間と、確認問題で全員が正解を共有する時間を作れるおかげで、児童のやる気と集中力を高める授業づくりに役立っています。**

今では、テスト前に自主的に、自宅でｅライブラリを使って復習する児童もいるので、大事な基礎事項の学習ツールになっていると実感しています。

３年２組担任
石川　康太郎 先生

# テーマ学習でより充実した家庭学習

## ４年　学年を超えて単元のつながりを意識

ｅライブラリの宿題が出ると大喜びの４年生。「先生、今日はｅライブラリの宿題はないの？」と期待の声が上がります。そこで、自主学習に適したテーマ学習を紹介しました。

**難易度の低い教材から、スモールステップで進められるので、学年をまたいでテーマの理解を深めることができます。**ステップ１につまずきがあると気づいた児童は、「だからこうなるのか！」と目を輝かせて学習していました。

## ｅライブラリ活用のねらい

- 単元を３ステップでくりかえし学習させ、単元の定着を図る
- テーマ学習で学年の枠を超えてドリルに取り組ませ、単元のつながりに気づかせる
- 先生が課題を配信して、学校でも自宅でも学習内容をふりかえる習慣をつけさせる
- 様々な事情で登校できない児童にメッセージや課題を配信して自主学習のきっかけに

## 先生の工夫

- 日常的にタブレットを利用し、児童が学校と家庭でeライブラリに触れる機会をつくる
- 金曜日には、「週末に保護者と一緒に取り組んでみよう」と声をかける
- ドリル教材は、「リトライ機能を使い１００点 をとろう」と声をかけ、諦めない心を育てる

▲ 若い先生を中心にｅライブラリを推進中！先生同士で活用を相談することも

▲ ＩＣＴ支援員の協力も大事な支えのひとつ

▲「めざせ１００点」課題のタイトルで児童のやる気アップ

## インタビュー　学校と家庭で垣根のない活用に向けて

「ちょっと勉強やってみようかな」と**自分の意志で苦手な単元に向き合うきっかけをくれるのがｅライブラリの魅力です。**自動採点ですぐに正誤がわかり、解説教材を読めば間違いをすぐに見直せます。**児童がそれぞれのペースで何度もくりかえし挑戦することで、学習習慣や基礎学力が身に付きました。**

今後は、一人ひとりの学力に合った自動個別課題を配信しながら、「学校でも家庭でも垣根のない学び」を目指します。先生の授業とラインズが蓄積してきたＩＣＴのノウハウを織り交ぜて、これからも「学びを止めない授業」に邁進していきます。

校長
河村　麻里 先生

※ 本紙の情報は取材当時（２０２０年度）のものです。

LINES
学ぶチカラを、未来のチカラに

**ラインズ株式会社**
〒169-0051　東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス4F
TEL:0120-49-7130　FAX:03-6861-6006
https://support.education.ne.jp/ela/ela2020.html